

やまのちき通信 273号

2月20日現在
 子ども会員：90人
 正会員：37人
 賛助会員：234人
 28団体



キナコちゃん ちゃんとダンス!!



しりたがり	2
おとな塾	3
特集～キナコちゃんとダンス!!～	4～5
特集～雪あそび～	6～8

ゆまもと かずこの 知りたがりやトーク

2月も半ばを過ぎ、公立高校の入試直前の今日このごろ、みなさんいかがお過ごしですか？世間ではまだまだインフルエンザが蔓延しているようですが、手洗い・うがい・大笑いで一緒に乗り切りましょうね。

今朝の朝日新聞の1面は、「大逆転 りくりゅう金」という日本中が歓喜した嬉しい記事と「共同開発の武器輸出 拡大」という不穏な内容の記事が隣り合わせで掲載されていました。複雑な気持ちを抱えながら、下の方に目をやると、書籍の広告欄に「思考の生理学 高知大学で1番読まれた本。」の文字が。1週間後に高知大を受験する子が目の前にいることもあり、高知という文字に脳が素早く反応した模様。この本を買って、受験が終わったときに読ませてあげようと思いつつ、そこにあった前日の新聞を見ていると、なんと「愛媛大学で1番読まれた本。」と書かれているではありませんか。その3日前は「香川大学で読まれた本 3位」。その前の週は広大・島根大・鳥取大と、中国地方の大学名がずらり。そうなってくると、事務所に置いてある新聞を全部ひっくり返してみたいと思うわけです。すると、滋賀大に静岡大、岐阜大・信州大・山梨大・福井大・金沢大・富山大・北海道大……などで1番読まれた本。とほぼ毎日のようにその広告は掲載されていたのです。極めつけは「東大・京大・早慶で1番読まれた本。」そこまでいくと、大爆笑です。私だってほぼ毎日見ていたハズの新聞。なんで、こんな面白いことに気づかんかったんじゃろ。今日の新聞に載って



いたのが高知大学じゃなかったら、たぶん、まだ気づいてなかったと思います。そう、人は自分に関わりがないと思われることは、スルーしちゃうんです。

ところで今回の選挙ですが、メディアの予想通り自民党の圧勝。国民は、これまでの、奥歯に物が挟まったような物言いの男たちより、はっきりもの申す女の方が期待できると考えたのかもしれませんが。その判断が正しかったのかどうか、私たち国民はそう遠くないうちに知ることになるでしょう。めっちゃ怖い！

この国はどこへ向いていくのかを私たちは、しっかり見ていかなければなりません。なぜならそれは、子どもたち孫たちの人生に大に関わってくる問題だからです。関心がないからスルーしちゃった。なんて悠長なことを言っていると、知らないうちに、いろんなことがどんどん決まってしまうかもです。そんなこと知らなかった！と後悔せずにすむように、みんなで関心のアンテナを上げようね！



Nextおとな塾

最後の十年を最高の十年にするために

🍏 ~りんご薬剤師のひとりごと~

講師：しまとしはるさん
(薬剤師『りんご薬剤師のひとりごと』の著者)

【日時】3月11日(水)19:30~
【場所】生涯学習センター507
【参加費】1200円
※事前にお申込みください。



呉市のお財布

どこよりも早く、呉市のお財布と題して来年度予算について学ぶおとな塾。財務部財政課長である綿谷さんに、できたてほやほやの予算資料をお持ちいただきました。

令和8年度の呉市は「世界一魅力的な「呉」を目指して～こどもを産み育てやすいまちへ～」を掲げ、一般会計において、過去最高額の1,154億3000万円の予算を編成しています。

令和7年3月、呉市の人口は20万人を下回りました。どの分野においても、今後人口減少に対してどう取り組んでいくのか、頭を悩ませていることと思います。呉市は「人口戦略対策本部」を設置、人を惹きつけるまち「くれ」の実現を目指して、「呉市人口戦略プラン」を取りまとめる予定とのこと。

- そのために、
- ①若者や女性にとって魅力的な雇用の創出と働きやすい環境の整備
 - ②子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備
 - ③誰もが暮らしやすい魅力的なまちづくりの推進



講師：綿谷 文宏さん
(呉市財務部財政課長)

の3つの柱を中心とした施策を推し進めます。個々の施策については、呉市ホームページでも公開されているので、チェックしてみてください。注目は、新たな産業団地の検討や、0-2歳児の保育料無償化、周産期・小児医療体制の確保、広島大学との海洋・海事拠点形成、かき養殖の復興など。そして、呉駅周辺地域総合開発の推進においては、青少年の居場所づくりとしてアーバンデザインセンターが大きな目玉。

額面が大きいにも関わらず、おおよそ全国の自治体でそれぞれ取り組まれている施策がほとんど、といった印象を受けました。人口戦略プランのためには、どのような調査検討が行われているのでしょうか？結婚出産を希望しない人が増えていることは知られていますが、一方で希望する人だっているはず。そのニーズはどう反映されている？

子育て当事者としては、ハード面にばかり注力されていて、現場で不足している教員や相談員など、もっと人にフォーカスしてほしいという思いが。少子化対策と子育て支援は本来別のもの。どこにお金を使ってほしいのか、私たち当事者ももっと声を届けていかなければ…と感じました。(まゆまゆ)

緊急おとな塾

2月20日(金)YYY事務所 参加者10名

いま、「憲法」を読むことから始めよう

物価と税金、生活が争点だと多くの人が思っていた先の衆議院選挙。ところが選挙戦後半にして急に「憲法改正」が声高に言われるようになりました。首相のいう「私にやらせてください」はコレだったの！？憲法とは権力を縛るもの。戦後80年、誰もが自分らしく生きられる時代へとバトンを受け取ってきた私たち。次の世代へどう渡していくべきか、もう一度、私たちの生活を守る「憲法」を読むことから始めます。ちょくちょく開催する予定ですので、ぜひ、ご参加ください。

いま、「憲法」読むことから始めよう

先日の衆議院議員選挙後、ニュースで頻りに聞く「憲法改正」や「国民投票」ということば。そもそも、わたしたちにとって「憲法」ってどんな存在なのか。そしてなぜ変えたいの？どんなふうに変えるの？改正すると私たちの暮らしにどう影響するの？わからないままではいけない。「なんとなく」のままでいたくない！だから、いま「憲法」を知って「憲法改正」を考える時間を持たせませんか。

<ここは押さえて！>

- 日本国憲法改正草案を読む
- 改正案の「大きな4項目」とは
(9条/緊急事態条項など)
- 改正によるメリット/デメリット
- 国民投票の仕組み

憲法改正について賛成・反対を決める時ではありません。どんな立場の方も安心してご参加ください。

【日時】2月20日(金) 19:30~
 【場所】呉子どもNPOセンター-YYY事務所
 【主催】お問合せ
 特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンター-YYY
 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12 PANビル3F
 TEL 0823-24-5646



舞台が始まるやいなや、子どもたちは全集中。赤ちゃんキナコがガラガラを振り回し、パパの身体をよじ登る。子どもたちは大笑いしながら、ちょっとした動きも見逃すまいと身を乗り出す。

給食時間のキナコちゃんが、箸を落とせば、素早く拾いに出る子ども。それを見てニンマリ。ゆで卵を食べた瞬間の「ホントに食べた！」という驚きの声に「そうでしょ、そうでしょ。」と嬉しくなる。

夜になり、なかなか寝ないキナコちゃん。お父さんは何冊も本を読み、人形劇をやる内に本気になり、ふと静かになったと思ったら……あれ？寝ちゃった？でもやっと眠った！その眠った我が子を抱き、一緒に踊るシーンに、思わず胸がギュッとなり、目が熱くなる。やっと終わったパパの1日。

キナコちゃんとダンス！！は、お父さんの子育て参加をテーマにした人形劇。子育て世代にとっては、「あるあるのお話」。子どものいる毎日、決して楽チンではない。イラッとしたり悲しくなったりする時も多い。だけど、やっと眠ったキナコちゃんを抱えて踊るお父さんの姿に、わが子の寝顔を見た瞬間にあふれ出す愛おしさを思い出し、じわっと共感するのだと思う。寝てる時こそ、つい、つつきたくなるよね。

YYYでは、「子どものいる人生ってとても豊か」というメッセージを伝えたくて、これまで何度も企画してきた。子どもたちが舞台に入り込む姿や、その様子を観ている大人の反応を見て、今回も私たちの思いは届いていると実感した。（鑑賞部）



妖精キナコ ランウェイでお出迎え

「朝のお着替えキナコちゃん」をヒントに、今回のロビーづくりは、レッドカーペットランウェイ！いろいろなファッションのキナコちゃんが皆さんをお出迎え。小学生から「うわああ！妖精みたい！」って歓声が聞こえてきた。パチリと写真撮影する人たちも。ドレス提供の皆さん、ご協力ありがとうございました。



3階にフォトスポット設置！
ミラクルミラクル！「おいもの馬車」と「まるでキナコちゃんの給食セット」は大人気！パパママは写真を撮りまくり。貼り絵コーナーには、子どもたちがわんさか。終了時間いっぱいまで楽しんでいました。



アンケートより

来るまでイヤイヤ言っていたんですが、おはなしに夢中になっていました。(幼稚園児母)

子どもの幼少期を思い出して、面白かったです(大人)

ブタバパンチが面白かったです。(小2)

おじさんが面白かったりして、面白かったです。人形劇の中で、また人形劇があたりして驚きました。(小4男子)

お父さんの目線がとても共感できました。(大人)

子どもの寝かしつけ 寝るまで大変。ちょっとうるさいなと思うことも。いざ寝てしまうとなんだかとても愛おしくてさみしくなる気持ち。もっとこうしてあげたらよかった…など思う気持ちを思い出して泣いてしまいました。とても楽しかったです。子どもがいっぱい笑っていて連れてきてよかったです!! (大人)

めちゃくちゃ面白かった。ちょっとしんけんなところもあった。(幼稚園)

次の舞台は!

6月7日(日)
ぼくピンチなんです!



北村さんと「ふくろうぼうやの」つげさんが、タッグを組んでおくる人形劇「ぼくピンチなんです!」。初演からおよそ20年、全国の子どもたちを救ってきたピンチバスターズ、なんと今回の呉公演がラスト。最後を飾るのは一体どんなピンチ!? 見逃さないで! チケット予約始まっています。お早めに!



寒さに負けない

雪あそび



次々とかまくら建設



ミラノ・コルティナにも負けてない！たっぷりと雪を楽しんできましたー！YYYの雪あそびは、現地に着けば自由！それぞれがやりたいことをやるのが売り！マジでかまくら作りを始める大人たち。でっかいソリに友達4人が乗って「イエーイ！」とまるでジェットコースターな子どもたち(母たちも)。スノボやスキー教室に入って、リフトで上から滑れるようになっていた子もいた。キッズの森で雪玉を取りあいながら木と木の間でふざけて雪の上を転がりまわる子。見た瞬間、思わず「つばえる」という方言が浮かんできた。普通なら「危ないけん、やめよう」と声をかけたくるところだが転んでも怪我しない雪の上。こっちも安心して眺めていられる。テントの中でランチした家族も。こりゃ忘れられん。



お供え？
アヒルです



スキー&スノボ教室





どっちが大きい?



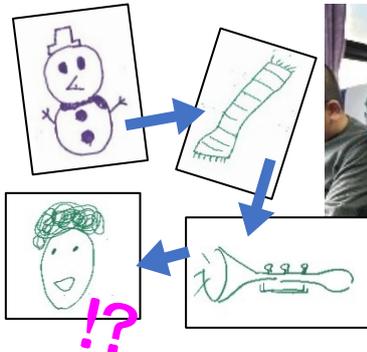
これくら〜い!!

午後からの全体あそびは大人対子どもの雪合戦に、バス対抗雪のタワーづくり。サラサラの雪はなかなか高いタワーにならない。ソリに雪を集める係、運ぶ係、雪を固める係と、いつの間にか役割分担して協力体制ができていた。同じ目標に向かうこうなるのかとビックリ!? どっちが高いかを判定する時、大学生2人が両手を広げて「これくらい」とそれぞれ測りくらべっこ。そんなテキトーな感じに、みんな大笑いだった。

今回は朝ちょっと太陽が顔をのぞかせただけで、あとはずっと雪が降っていた。寒い1日だったけど、みんな、とっても元気! キャンセルもゼロ! 子ども達から「来年もゼツタイ行く!」と言う声をいっぱい聞いた。さらに「今年もう1回やらないんですか? やってください」とお母さんから言われ、うれし〜い。今後も続けていけるようにしなくっちゃ!



YYYの雪あそびは、大人が雪道運転のストレスなく、スキー場まで行ける。せっかくのバス旅だから、みんなで楽しく、初参加の人の緊張もほぐしたい。そこで一役かったのは子ども達。クイズやなどを準備。1号車は心理テストもしたそう。どんなテストなん? と興味津々。2号車は「絵しりとり」で画伯がいっぱい。「パパ」だと思ったらまさかの「パーマ」だったり、予想できない展開にどよめいてました。(子ども活動部くぼ)



インターンで参加した雪遊びでは、自分から積極的に、子どもたちに話しかけました。「何作ってるの?」とか「何が楽しみ?」と声をかけると、子どもたちからも「そりですべろー」とか「かまくら作って」とリクエストが返ってきたりして、一緒に遊びながら、子どもの元気を分けてもらえたように思います。初めて出会ったのに、とても仲良くなりました。バスレクでは子どもたちが考えたレクをしていて、子ども大人構わず全員が楽しんでいたのがすごいなって思いました。いっぱい遊んでくれてありがとう! また話したり遊んだりしようね。(大学1年スバル)

私は主に写真撮影係を担当しました。子どもたちが雪の中で思いきり楽しむ姿や挑戦する瞬間を写真に残したいと心掛けました。みんなの笑顔を近くで見られ、支える立場として関わることがとても貴重な体験になりました。司会進行なども少しさせていただきましたが、やりがいがある半面、場を盛り上げる難しさを感じました。思うように話が伝わらず、全体をまとめるのは本当に大変でした。私は人前で話すのが苦手なので克服していきたいです。(大学2年もと)

大学生活躍!



もつと もつと 雪あそび



おとな VS 子ども



吹雪の雪合戦!!

おとなも子どももおおはしゃぎのそり!



参加者の声



こまり(小3)

長いそりがあったのでそれですべりました。坂の急なところのボコッとなっているところははねるところがとても楽しかったです。 さちか(9才)

またつぎのにちようび いきたいです。 りんたろう(小1)

子どもたちの笑顔が見られて幸せな気持ちになりました。(母)

雪が降ってキレイだった。寒いはずなのに、寒くなかった。最高に楽しかった。 なお(12才)

まだまだすべりたかったです！とても楽しくて、寒くて、目がくらみそうでした！ (こども)

初めての雪あそび、とっても楽しかったです。長男はスノボ、次男はソリ。私もソリすべれて楽しくてよかったです！ (母)

10 数年ぶりのスキー、難しかったけれど、娘とできて楽しかったです。雪合戦と、雪の塔作りも盛り上がりました。 (父)

■発行日：2026年2月25日(毎月1回発行) ■発行責任者：米本美千恵

■発行元：特定非営利活動法人 呉子どもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F

■連絡：0823-24-5646 ■WEB：<http://kure-yyy.org>